



けいし



<教育目標> 上妻を愛し、夢や希望に向かって、
たくましく生きる子どもの育成

令和元年8月27日

小さな蟋蟀（こおろぎ）が一匹 私の茶碗の中に匍（は）っていた 秋が来たようである 高橋 新吉

例年は残暑厳しく、暑い夏を生き残ったセミたちが、終わり近い夏をむさぼるように鳴いている時期ですが、今年は涼しい8月の終わりを迎えています。ただ、これから秋の気配が、日一日と濃くなっていくことでしょう。夏の終わりにふと秋の気配が忍び寄る。季節が行き交う移ろいの姿を、子ども達がしっかりと感じ取ってくれば・・・と願っています。

新しい自分になろう

長い夏休みが終わりました。子ども達はたくさんの夏休みの宿題、作品、そして思い出を持って登校してきました。

学校生活が始まる時は、楽しみな気持ちと、ちょっと憂鬱な気持ちになるものです。それは、学校がたくさんの人とかかわる場所であり、自分自身を見つめる場所でもあるからです。さらに、新しい自分を創ろうとする気持ちが高まる時期だからです。

「新しい自分になろう」（抜粋）

友達が悲しんでいる時にそっとよりそい、

友達が喜んでいるときに一緒に喜ぶ自分になろう

人のいやなところばかり見てしまう自分と別れ、

よいところを見つめる 新しい自分になろう

あの人は変わっているよね と遠ざけてしまう自分と別れ、

個性あるよね と受け入れ声をかける 新しい自分になろう

いやだなと思って、つい ついていく自分と別れて、

自分をしっかり見つめ断る勇気を持つ 新しい自分になろう

いやなこと、つらいことがあると人のせいにする自分と別れ、

自分でのりこえようとする 新しい自分になろう

自分はだめな人間だと思ってしまう自分と別れ、

自分には可能性があると思える新しい自分になろう



9月の主な行事

- 4日（水） 中学生による読み語り
合同水泳記録会（6年 三河小にて）
- 9日（月）～13日（金） いじめ防止強調習慣
- 16日（月） ソフトミニバレー大会<PTA>
- 20日（金） 授業参観・学級懇談会
- 25日（水） 給食員さんとのふれあい給食（4年）
- 26日（木） 給食員さんとのふれあい給食（3年）

ありがとうございました

25日（日）の愛校作業には、朝早くからたくさんの方に参加いただきありがとうございました。

おかげさまで、学校がきれいになりました。



戦争を語り継ぎましょう

あの日から、血で染まった川、がれきの山、皮膚がはがれた人、たくさんの亡きがら、見たくなくても目に飛び込んでくる、地獄のような光景が広がったのです。

大好きな町の「悲惨な過去」です。

被爆者は語ります。

「戦争は忘れることのできない特別なもの」だと。



上の文は、8月6日に広島市で行われた「平和記念式典」で、広島市内の小学6年生二人が読み上げた『平和への誓い』の一節です。

台風が九州地方に接近したため、8月6日に予定していました平和学習ができませんでした。しかし、戦争が終わって70年以上の歳月が過ぎ、戦争の体験を語ることのできる人が少なくなった今、学校で行う平和学習の大切さや重要性が大きくなっており、できなかった平和学習を8月25日に行いました。

大好きな広島に学ぶ私たちは、互いに思いを伝え合い、相手の立場に立って考えます。

意志をもって学び続けます。

被爆者の思いに、私たちの思いを重ねて、平和への思いを世界につなげます。



3年2組では、絵本『まちんと』を読んで、戦争や平和について考えました。



連絡です

5月からお休みされていた福貝有里彩先生がご退職されました。

そのため、乗本梨絵先生に引き続き勤務していただくことになりました。

7月までは、主に2年生の指導をしていただきましたが、8月からは、高学年の学習指導も行っていただきます。

→ホームページでは、生徒の画像を編集しています。

ちょっといい話

けがしたらダメだよ。
これ飲めよ。

阪神甲子園球場で開かれた全国高校野球選手権大会のさなか、心温まる場面がありました。

18日にあった準々決勝第3試合、星陵（石川）―仙台育英（宮城）の七回裏。仙台育英の攻撃中、星陵の先発 萩原君の右足がつりかけました。仙台育英の四番打者 小濃君は、萩原君の小さな異変を感じ取ると、自分が飲もうと思っていたスポーツドリンクのコップを持ってすぐにベンチを飛び出し、萩原君のもとへ駆け寄りました。

「けがしたらダメだよ。これ飲めよ。」

この時、仙台育英は一一九でリードされていました。小濃君は「これまで自分たちが死球を受けたときも、相手選手にコールドスプレーをかけてもらっていた。自分たちもそういう場面に来たら、何かしなくちゃと思っていた。」と振り返りました。

最初は驚いたような表情を見せた萩原君。すぐに照れくさそうに受け取ると、ドリンクを飲み、投球を再開しました。

敵味方を問わないフェア

プレーに、観客から大きな拍手が送られていました。



